

# オレンジネット通信 NO.12

株式会社ウラップユニ TEL : 0422-26-5581 FAX : 0422-76-0581  
E-Mail:info@orangenet-tokyo.com HP : http://www.orangenet-tokyo.com/



「家族」デザイン：星 真奈美さん

## 広告価値の喪失、溢れるポストへの配布

ポスティングではその時その時で判断しなければならないことが多くありますので、常に緊張感が要求されます。緊張感を失くして漫然と配布を進めるとエリア外への投函が始まったり、配布禁止であるマンションを見逃したり、チラシの裏表が逆になったり、自分の居る場所が分からなくなったりして慌てることになります。

最近のことですが、某マンションの管理人さんから「ポストがチラシで溢れ返っているにも拘らず、更にもその上から押し込むようにして入れているので、このような場合は入れないようにしてほしい」というクレームがありました。このクレームはこの業界全体に該当する内容ですが、私たちも十分に注意したいと思います。

マンションでもアパートでもチラシやDMで満杯のポストはよくあります。このような状態のポストを見つけると、チラシ等々の受取拒否の意思表示、そのポストを持つ居住者が長期的に不在、まったくの空き室、ポスト内のチラシ、郵便物に無関心で放置、等々の背景が次々と浮かんできます。



ポスティングでは、既にご経験されていることと思いますが、「投函する判断」と「投函しない判断」が相互にぶつかり合って、時には悩ましい問題として残っていきます。いつもははっきりした状況ではないので、どうしようか、と考えるところです。ポスティングは「チラシ(広報パンフレット)を通じて、お店と住民とのコミュニケーションを育てる」仕事と考えていますので、この基本に適した配布かどうかを常に現場で判断して頂くしかありません。

チラシは広告価値のあるものとして受け取る側の方々楽しんで見て頂けるようにお届けする、という私たちの役割から、今回のクレームを考えてみますと、程度問題とはなりますが、チラシで溢れ返っているポストに対して丁寧な配布が難しいと判断されるならば敢えて投函することは避けて頂きたいと思います。無理な配布でチラシの持つ広告価値をなくさないように十分な配慮をお願いいたします。



# インターネットの普及とネットビジネス

地デジ普及もあってネット社会での電子ビジネスについて賑やかな議論が続いていますが、そのネット社会を実現するために必要な家庭でのネットの利用率や活用方法について武蔵野市が興味ある調査を発表しています。

インターネットの PC 機器の保有状況ですが、全体で 75%と非常に高い割合であり、携帯電話は、18 歳～29 歳では 90%以上が保有しており、年代を増すごとに保有する割合は低くなり、60 歳以上では 30%に落ちています。

インターネットの利用状況では「現在よく利用している(44%)」「ときどき利用しており、今後も利用したい(25%)」を合わせて 69%がインターネット利用に対して積極的な考えを持っています。中でも、30 歳代(14%)が最も熱心で、次いで 18 歳～29 歳(12%)、40 歳代(10%)となっています。機器の所在では自宅のパソコンが一番多く(64%)、次に職場・学校のパソコン(26%)、携帯電話(8%)となっています。市のホームページを見たことがあるか、と言う質問では、「見たことがある」は 35%、「見たことがない」は 64%であり、まだまだの感があります。この辺りが実際の姿かもしれません。

市の情報に何を期待しているかについては、第1位は「市報(73%)」、第2位は「わたしの便利帳(41%)」、第3位は「市議会だより(32%)」となっています。このような結果はほとんどの地域で共通するデータであろうと思えますが、行政が伝えたい情報と住民が期待する情報が一致するならば、その情報伝達の方法・方式が新しいビジネスとなる可能性もありますので、要注目です。

## あちらこちら、世話焼きの散歩道 -人見街道-



配布員さんが朝移動する時に、人見街道を歩いて…というお話がよく出ますので、人見街道とはどんな道、ということでネットウエーブしてみました。開いてみると、正に百花繚乱の HP が続々登場。歴史街道 & 郷土街道としての深い解説、起点から終点までの細かい道路施設案内、四季の観光スポットガイド、目的がよく理解できないのですが全行路走行時間テスト、テクテク見て歩き記録等々多彩な情報で満載です。ここでの情報を元に人見街道についてその一部をご紹介します。本来は、府中市と杉並区の大宮八幡神社を結ぶ、鎌倉以前からの街道で「大宮街道」と呼ばれ、今では起点の杉並区浜田山三丁目以東は杉並区の「八幡通り」、終点の府中市若松町四丁目以西は「府中市道」と繋がっている約 12 キロメートルの都道となっています。この道が府中の人見村を通過していたことから、「人見道」とか「人見街道」と呼ばれ、また甲州道中の烏山から府中方面へ抜ける近道でもあったので、「甲州裏道」とも言われていたようです。少し街道を外れると武蔵野の面影が残っており、南北朝の頃の人見原合戦や近藤勇生家、尾張藩鷹場標石、屋敷林、元禄の庚申塔などの史跡もあって魅力とロマンに満ちている街道といえます。三鷹市の公式 HP は一見の価値があります。是非寄ってみてください。

